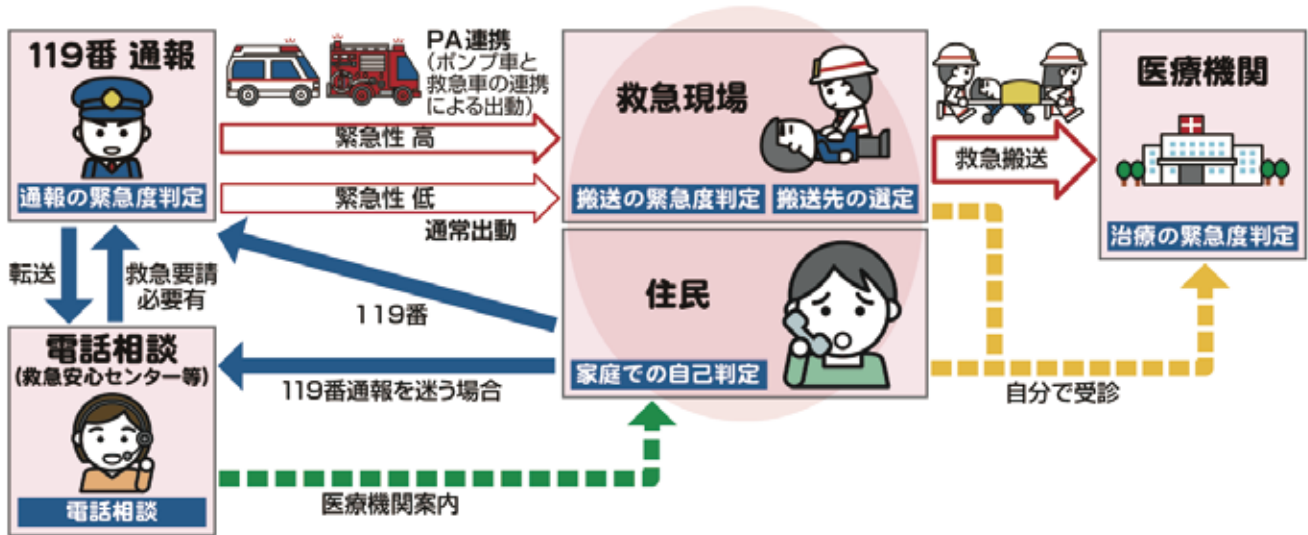


近年、石狩市でも救急車の出動件数・搬送人員数が増えています。しかし搬送された傷病者のうち、約半数が軽症者というのが現状です。このままでは真に緊急を要し、救急車が必要な方への対応が遅れてしまう可能性があります。救急率に影響がでる恐れがあります。

救急車や救急医療は限りある資源です。みんなで上手に利用し、救急医療を安心して利用することのできる社会を目指しましょう。

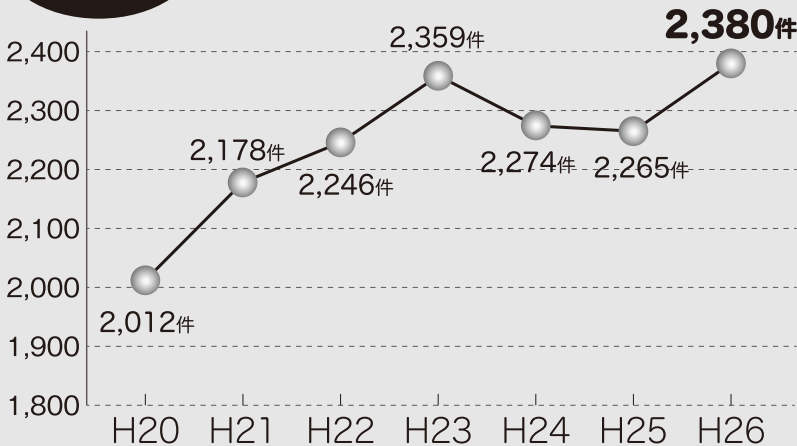


救える命を確実に救うためには、緊急度に応じた救急医療を提供することが重要です。



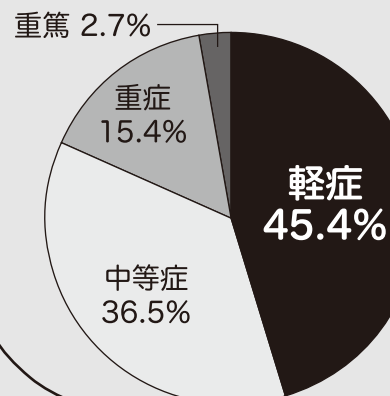
増える救急搬送

市内の救急出動件数



出典／石狩北部地区消防事務組合統計・資料

救急搬送のうち約半数が軽症者でした



予防救急しよう

年齢と共に、ちょっとしたことで大けがし、そのまま寝たきりになることも。家庭内では「つまずく」「すべる」事故が多いため、その原因を取り除き、けがも予防しましょう！

まずは落ち着いて。 迷ったら#7119

市内の119番通報のうち、救急に関するものは平成26年で約2400件ありました。その中には、軽いけがなど緊急性の低い通報もあります。安易に救急車を利用することとは、本当に必要な人への救急医療の提供を遅らせてしまいます。

また、軽症者が「平日は仕事や学校を休めない」「夜の方が空いている」などの理由で救急医療機関を受診するケースが見られます。こうした行動は「コンビニ受診」といわれており、医師や医療スタッフの負担を招き、結果的に救急医療を担う医師不足につながっています。

救急医療を正しく利用するためにも、急な病気やけがで「救急車を呼ぶべきか？」と迷ったときは、**救急安心センターさっぽろ**「#7119」をぜひご利用ください。24時間365日、電話で医療相談ができる窓口です。

小さなお子さんをお持ちの保護者の方には、小児科医師・看護師への電話による相談ができる**小児救急電話相談「#8000」**が強い味方です。休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時にぜひ活用ください。

「#7119」を利用して命が救われた！ —市内に住むAさんの場合—

夕方から冷や汗が出て、足元がふらついたAさん。でも意識ははっきり。
「たいしたことないかな？」

救急車を呼ぶのは大げさだから、明日の朝一番で病院に行って診てもらおうかな…と思ったそのとき、
「そうだ！こんな時は#7119へ電話してみよう」

#7119にかけ、電話対応してくれた看護師にさっそく相談

救急車を使用して病院に行くことを勧められ、そのまま119番へ転送！
「#7119で相談してよかった！」



このケースでは結局、救急車で病院へ行ったところ脳梗塞と診断され、早期の治療を受けることができました。



本当に必要か考えてみましょう！

- ・蚊に刺されてかゆい
- ・海水浴に行って日焼けした足がヒリヒリする
- ・血は止まっているが指を切った
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・今日入院予定日だから、病院へ行きたい
- ・ヘルパーが来てくれず、代わりに呼んだ
- ・病院で長く待つのが面倒で呼んだ
- ・お金がなく、バス・タクシー代わりに呼んだ
- ・どこの病院へ行けばいいかわからず呼んだ

医師や看護師など専門スタッフが対応。強い味方です！

- 病院へ行く？救急車を呼ぶ？迷ったときにかけてみよう！

☎#7119

救急安心センターさっぽろ

- お子さんが急病！ 受診に迷ったときにかけてみよう！

☎#8000

北海道小児救急電話相談事業

相談時間が
☀早朝まで
延長しました！！

詳しくは13ページをご覧ください

予防救急しよう

寒い脱衣所で服を脱ぐと血圧が急上昇し、湯につかると今度は血圧が急低下。この血圧低下で失神し、浴槽内で溺れて死亡する可能性があるため、脱衣所や浴室は必ず暖かくして使しましょう！